

健康ほくほく通信

圏保健介護課 保健係 内線3111、3113～3116



No.4 不妊治療費助成制度

不妊治療を受けておられるご夫婦の経済的負担の軽減および少子化対策の充実を図るため、治療に要した医療費の一部を助成します。

【対象となる治療】

医師が必要と認めた不妊の検査、タイミング法・排卵誘発法・薬物療法・人工授精・顕微授精・体外受精・手術等（男性の不妊治療も含む）の不妊治療

【助成対象となる方】

上記の治療を受けている方の中で次の要件を満たす方

- ① 鬼北町内に1年以上住所を有する法律上の婚姻をされているご夫婦
- ② 治療開始時の妻の年齢が一般不妊治療40歳未満、特定不妊治療43歳未満
- ③ 医療保険に加入している
- ④ 夫婦の住所が異なる場合、他の自治体において助成を受けていない
- ⑤ 助成金申請日現在、夫婦に町税の滞納がない

【助成金額】

一般不妊治療 10万円

特定不妊治療 20万円（令和2年4月以降の治療費分のみ）

※令和元年度の治療費分につきましては10万円となります。

【助成回数】

対象者1人につき、一般不妊治療2回まで、特定不妊治療5回まで

【申請受付】

不妊治療が終了した日の属する年度の翌年度末日（令和2年度中に終了した治療費は令和4年3月末まで）に申請

今年度は平成31年4月以降の治療分を受け付けています。制度や申請時の必要書類につきましては、鬼北町ホームページでご確認いただくか、保健介護課までお問い合わせください。

北宇和病院 だより

熱中症の 予防について

北宇和病院 内科
しが かずこ
志賀 和子

熱中症は、何よりも予防が大切です。まずは暑さを避けること。屋外では帽子や日傘を使い、屋内では直射日光を遮り、扇風機やエアコンで室温・湿度を調整してください。

次に、水分をとること。マスクの着用により、のどの渇きに気づきにくくなる可能性があります。特に高齢者では暑さやのどの渇きを感じにくいので、「1時間に1回飲む」「午前中に水筒を1本飲む」などと決めて、のどが渇く前からこまめに水分を補給しましょう。カフェインが多く含まれている飲み物やアルコールは飲んだ以上に尿が出てしまうので、控えましょう。また、スポーツ飲料やジュースは糖分が多いため、飲み過ぎに注意してください。持病のある方の水分量や塩分については、かかりつけ医にご相談ください。

寝不足や疲れなどで体調が悪いとき、屋外の作業に慣れていない場合も、熱中症が起これやすくなります。体を大切に、お過ごしください。



広報7月号で紹介したオムラサキを育てる活動。無事に羽化し、きれいな蝶を見ることができました。



今月の1枚

▼編集後記
▼愛治小学校の児童たちと登った内山展望台。愛治地区町有林管理組合組合長の藤城さんの話を聞いて、私も児童たちと一緒に登って町有林について学ばせていただきました。なお、内山展望台は、道路の舗装工事が予定されているため、しばらくの間、登ることができなくなります。
▼今年の町内の夏祭りは、中止となりました。夏の楽しみが一つなくなってしまうのは残念ですが、山や川など町内で夏を楽しむところはたくさんあります。先日、私が初めて訪れた中野川の金剛滝もお勧めです。（史）